

第 2 回 平塚市バリアフリー推進協議会 議事録

日時：平成 27 年 2 月 18 日（水）10 時～11 時 30 分

場所：平塚市役所 本館 7 階 710 会議室

議題

- (1) 平塚市バリアフリー 事業計画について【資料 1】【資料 1 別紙】
- (2) その他

出席者

所 属		氏 名		
関係行政機関	国土交通省関東運輸局 神奈川運輸支局	久世 真		
公安委員会関係者	平塚警察署 交通第一課	春日 夕子		
施設設置管理者	国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所 交通対策課	山田 利一	(代理)大森 武司	
	神奈川県平塚土木事務所 道路維持課	池田 六大		
	平塚市 道路管理課	荒川 薫		
	平塚市 道路整備課	石井 利昌		
	公園管理者	平塚市 みどり公園・水辺課	齊藤 義行	
		平塚市 総合公園課	大津 修	
	公共交通事業者	東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社	磯嶋 雅彦	(代理)榎本 聡
		神奈川中央交通株式会社	永山 輝彦	
		株式会社湘南神奈交バス 平塚営業所	鈴木 伸	欠席
		社団法人神奈川県タクシー協会 相模支部平塚地区会	河原 貴治	
関係団体	平塚市老人クラブ連合会	月本 孝光		
	平塚市障がい者団体連合会	前田 美智子		
	平塚市民生委員児童委員協議会	赤坂 寅幸		

	平塚市自治会連絡協議会	八田 厚生	
	平塚市社会福祉協議会	竹澤 光史	欠席
	平塚市商店街連合会	常盤 卓嗣	欠席
	平塚商工会議所	栗野 裕	
	神奈川県立 平塚盲学校	鈴木 剛	欠席
市 民	平塚市バリアフリー基本構想 策定時の公募委員	遠藤 和子	
		山上 徳行	欠席
市 職 員	平塚市 交通政策担当部長	中村 正次	

【事務局】

所 属		氏 名
平塚市	交通政策課長	小林 岳
	交通政策課 主管	中嶋 孝之
	交通政策課 主査	鈴木 岳央

(1) 平塚市バリアフリー 事業計画について【資料 1】【資料 1 別紙】

【資料 1】、【資料 1 別紙】を用いて、事業計画作成の趣旨及び事業計画について、事務局及び各事業者から説明を行った。その後、質問や意見交換。

【構成員】

鉄道事業の取り組みの中の「サービス介助士」の成果と思われるが、みどりの窓口でのお釣りの渡し方において、配慮が感じられてありがたい。

ホームドアの設置について、平塚には特別支援学校が 4 校あることもあるので、できるだけ早い整備をお願いしたい。東急電鉄では全駅で設置するという話題が視覚障がい者協会でも話題になっている。視覚障がいのある方だけでなく、一般の方にも役立つことである。

バスの利用環境の向上について、車外放送の内容（放送の順番）で「行き先案内」を先にしてもらいたい。教育をされていることは承知しているが、運転手によって、聞き取りづらい場合もある。録音されているものの順番を変えるだけなので、すぐできることだと思う。定期的な更新の時期はあると思うが、この課題は平塚だけではなく、他の自治体や全国的な会議の場でも取り上げられている状況なので、「平塚から変えました」と言えるように努力願いたい。

【構成員】

ホームドアのニーズ・重要性については、重々認識している。現状は山手線の各駅で整備が進んできている状況である。次の整備計画としては、駅ごとの対応になる可能性もあるが、ホームドアの現時点での技術から見ても、ドアの位置が単一の車両で運行している山手線、京浜東北線では比較的取組みやすい状況である。東海道線はイベント列車など様々な車種で運行しているため、駅設備だけでなく車両設備の対応も必要であるため事業費が大きくなってしまう。平塚駅は日乗降客数が10万人超の駅であり、特別支援学校もそばにあることから東海道線の中では優先度は高い認識である。

国、自治体からの支援を受け、今後整備計画をたて順次進めていきたい。

【構成員】

過去には行き先の音声案内をしていたが、乗降方法を中乗り前降りに変更した際に、整理券やICカードについての注意喚起を優先させ案内している状況である。運賃支払いを問題なく行えるよう呼びかけることを優先させたためである。乗降方法が根付いた際には、行き先案内を先にしても良いのではと考えている。技術的にはできるので、その切り替えの時期については、継続的に検討させていただきたい。

【構成員】

宮の前歩道橋について、バリアフリー化の検討と事業計画に出されているが、反対している声は聞いたことが無いし、学校との協議も含まれているようだが、状況はどうなのか確認したい。

【事務局】

安全を優先するならば、歩道橋を残してエレベータを設置、又は、斜路付き歩道橋にすることであるが、それが可能なのか横浜国道事務所で検討している状況である。

今後、国道134号が4車線化されたことにより、国道1号の交通量がどう変化し、歩道橋を撤去した場合の渋滞状況はどうなるのかというところを検討している状況である。

【構成員】

1、2年前から同様な検討をしていたが、時間がかかり過ぎではないか。

【事務局】

検討している中で、良い数値が出ず、歩道橋を撤去した場合に渋滞が発生してしまう。今後の国道134号の4車線化により国道1号の交通量が減るのではないか。また、日産車体跡地のショッピングモール計画による交通量の変化について、見極めていかなければ、歩道橋の撤去について交通管理者の了解が得られない。将来形においても、歩道橋を撤去して大丈夫であるという資料をもって調整していきたい。

【構成員】

撤去の話が独り歩きしているのが気になる。撤去することは決定していないことで

よいか。

【事務局】

撤去もバリアフリー化の方法の一つである。撤去することは決定していない。

【構成員】

結論がでる目途はあるのか。

【構成員】

管理者と調整しているところであり、なるべく早く報告いたしたい。

【構成員】

平塚駅北口のエスカレーターは上りのみなのはなぜか。安全上設置できないのか。また、車いすの方へのエレベータへの案内はあるのか。

【構成員】

エスカレーターはJRの所有物ではあるが、当時は急遽設置した側面もあり、駅前広場とのアプローチといった意味では自治体との連携も必要なので、管理体制も含め現在協議を行っている状況である。エスカレーターのニーズは高く、上下方向あると便利ではあるが、維持費もかかり、トラブルも多い。バリアフリーの価値としては、エレベータの方があるので、駅ビルのエレベータを暫定的に利用するのが良いか、新規に設置した方が良いか議論している状況である。

【事務局】

エレベータへの案内は無い状況である。JRの事業計画にも記載しているが、JR、駅ビル事業者、市と共にバリアフリールートの改善について検討中である。

【座長】

道路特定事業の中で、計画に無い部分は基本的にバリアフリー化が済んでいるということによいか。

【構成員】

基本的に、できることできないこと含めて、取りかからなければならない項目について、全体を計画している。計画に無い部分が全て済んでいるとは言い難い。

【構成員】

道路改良などの工事で、バス停に係る際には、早めに連絡をお願いしたい。

【構成員】

現在も営業所に連絡を入れているが、工事が始まる時点での連絡について、工事担当者と調整する。

【構成員】

お店のバリアフリーについて、優良店舗のランク付けをしてはどうか。サービス面、ハード面等の分類をして星印の数を増やす等の表現を用いたら、商店主も努力してもらえるのではないか。

【事務局】

その他の事業の中で、バリアフリーマップの作成を長期計画しておりますが、御意見について商店会等へ伝えるとともに今後検討していきたい。

【構成員】

自転車通行に関して、通行に問題のある交差点を把握しているのか。自転車通行ができる広い歩道から繋がる交差点の形態が利用しづらい箇所について計画されているのか。

【事務局】

自転車利用環境推進計画を作成中であり、国の方針もそうであるが、車両の間である自転車を車道走行に転換する方向で進めている。平塚駅から 3km 圏域は自転車の利用が非常に多い状況である。アンケートをとった結果においても、歩行者がヒヤリとするとといった危険を感じる人が多い状況である。自転車利用者が車道を走行しやすいようなハード面の環境整備、キャンペーンや小中学校における交通安全教室によってソフト面の啓発を実施している。

【構成員】

駅前大通りでは、歩道に歩行者と自転車の区分があるが、自転車は歩道から宮の前交差点を横断できないがどうするのか。

【事務局】

車道を走行して国道 1 号を横断している方が、一日 10 人くらいいる。現状としては、歩道に歩行者と自転車の区分をしているが、将来的には車道に自転車レーンを設置し、歩道は歩行者のみという計画を作成している。

【構成員】

歩行者の安全対策（シート 27）で、自転車の計画は作成中という状況であるが、生活関連経路 20 路線のうち、17 路線で自転車走行環境整備を実施するとあるが、17 路線は市道だけということか。県道も含まれるのか。

【事務局】

計画を作成中であるが、市道だけでなく県道も含まれる。

【構成員】

県道も含まれるのであれば、管理者の合意をとるべきではないか。

【事務局】

御指摘のとおりであり、昨年 11 月にパブリックコメントを行った際の計画延長の 10.3km である。国道・県道も含まれており、自転車利用環境推進計画の目標年次が平成 39 年であるため、シート 27 では【継続】表記としている。自転車計画を 3 月に策定予定であるため、延長が変更になる可能性がある。

【座長】

本日の資料について、「整備候補路線」と修正することでいかがか。
異議がなければ、出席の皆様の資料の訂正をお願いいたします。

【座長】

質疑等ないようであれば、議題は以上で終了であります。今後の進捗管理として、4 月期に前年度の実績、当年度の予定の報告、10 月期に当年度の事業進捗状況の報告を予定しております。

各事業者におかれましては、その都度の資料提供が必要になってくることと思いますが、御協力をお願いいたします。

なお、本計画は平成 32 年度を目標としております。各事業者とも予算状況は厳しいと思われるが、早期の取組み、事業実施について引き続きよろしくお願いいたします。

(2) その他

特になし

【事務局】

本日の会議資料及び会議録について、ホームページにて公開いたしますこと御承知願います。

次回協議会の候補日として、4 月 23 日（木）午後または、4 月 28 日（火）午後に予定しております。

以上